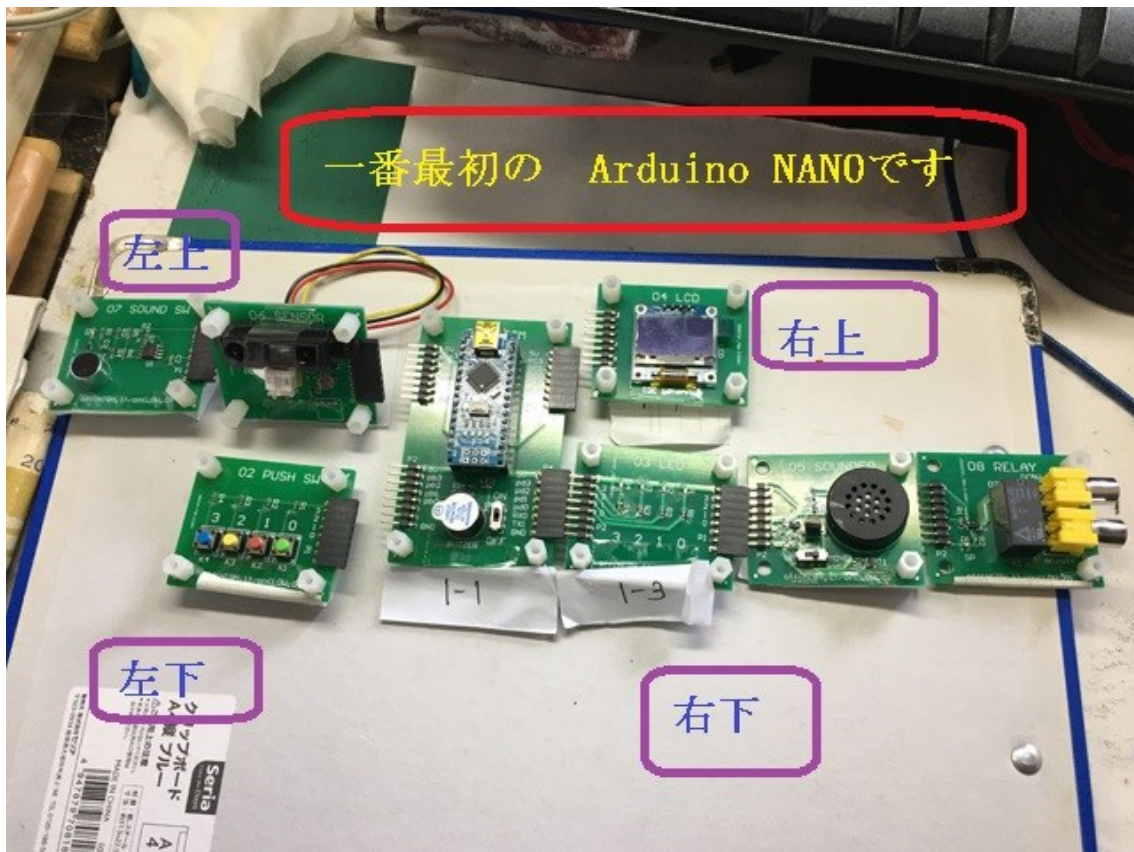


新規 I O 基板について説明します。

- 以前、下記基板を日本の業者様に依頼して作成しました



私は、CAD 設計苦手です。従って手書きの回路図は提示しますが、CAD 設計してガーバーデータからプリント基板作製した経験無いです。すべて業者様お任せです。

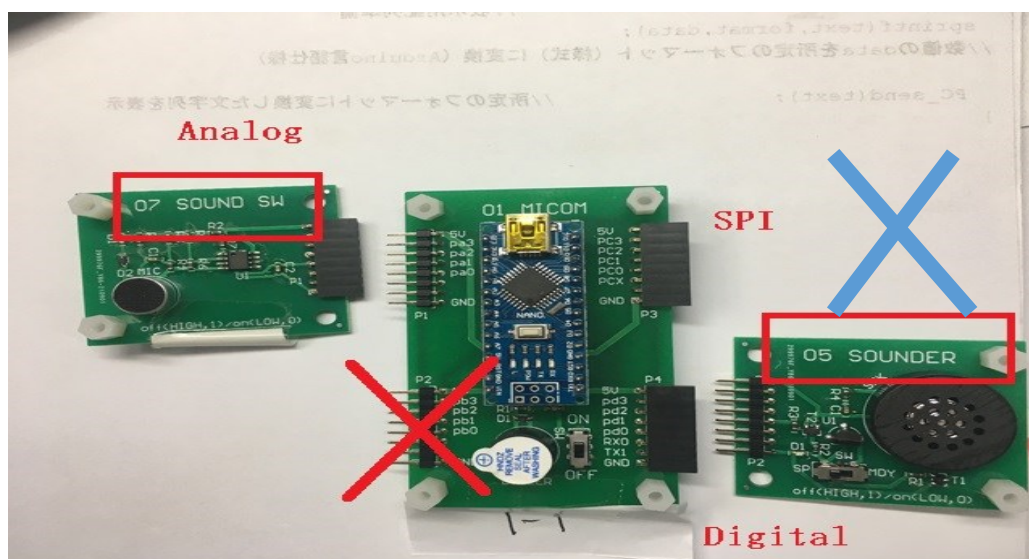
今までは、“MPU + I O 基板のセット” で販売してましたがお値段が高い。バラ売り希望がかなりあった。

そこで、今回こちらの Arduino NANO セットを一式中国に送付して基板作製お願いしました。

Arduino NANO はかなり人気あります。したがって、今回の新規基板が売れば需要はあると考えています。

但し、同じ物を作成販売すると業者様の著作権に抵触しますので改良が必要です。

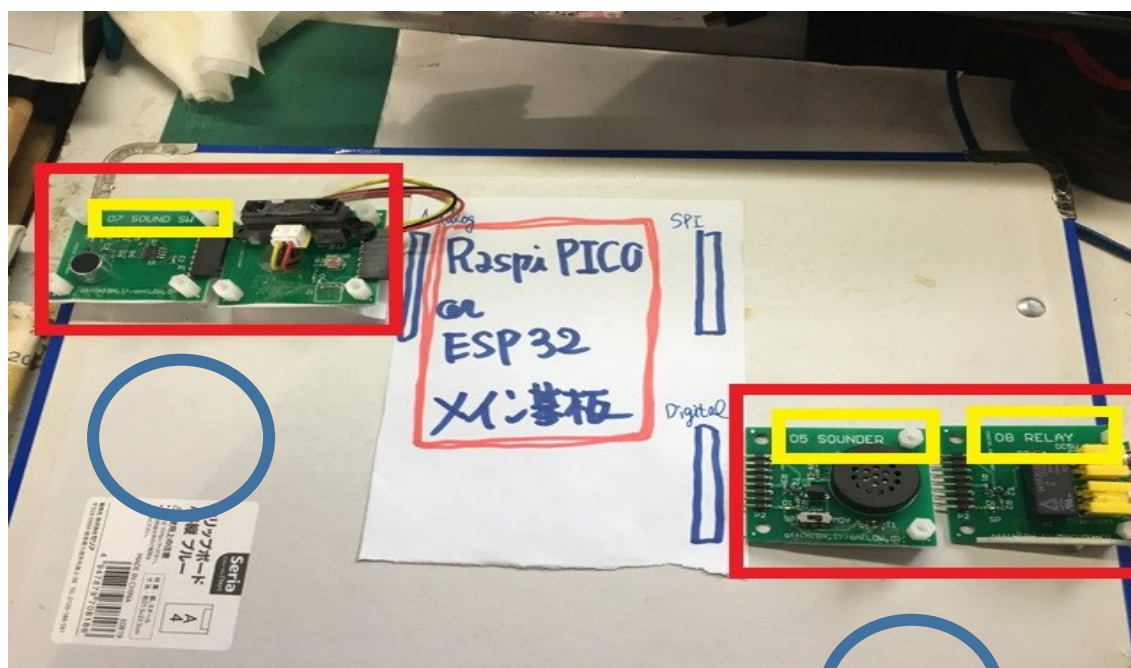
○ 流用できる I O 基板



今までの I O 基板で、”右下基板” と ”左上基板”は ESP32,RaspiPICO で動作確認済みです。そのまま、新しい基板に差し込めば動作します。

但し、日本の基板製造会社の著作権がありますので使えません。発想は私が考えました。

右下 Digital 05 SOUNSER 、 08 RELAY OK RELAY は ON,OFF おかしい？
 左上 Analog 06 SENSOR 、 07 SOUND SW OK



○ 新規基板 (ESP32,RaspiPICO) での IO 基板構想

最終構想は下記です。ただし、私は **中国タオバオでの部品調達は分からないです。** そちらの生徒さん設計してもらうのが良いです。

- ・ 基板の大きさは気にしない
- ・ とにかく、信号変換基板経由でメイン基板コネクタに接続出来れば良い
- ・ 部品や流用基板は、**全て購入**してそれをベースに合わせこみ設計する

改良は、**Arduino NANO** で作成した IO 基板と比較して見た目にコピー基板と分からないように作成すれば早いかもしれません。この部分は回路図公開

しませんので、改良基板があれば良いです。信号経路は、**Arduino NANO** から変

更していません。信号はそのまま使えます。見た目に**コピー製品**で無ければ問題ないです。

